

## 再配達削減に取り組もう

近年、ネットショッピングの急速な拡大に伴い、宅配便の取扱量が年々増加しています。それに伴い、荷物の受取人が不在などの理由から配達員が荷物を一旦持ち帰り、再度配達する「再配達」も増えているそうです。2024年の調査では宅配便の約10.2%が再配達となっています。再配達に伴う車両の使用頻度の増加は、二酸化炭素(CO2)の排出量を増やし、環境汚染や地球温暖化の要因につながります。

### 再配達が環境に与える影響は？

国土交通省の推計によると、再配達による車両の走行距離が増えることで、CO2 排出量が年間約 25.4 万トン増加するそうです。また、再配達のために車両が頻繁に走行することで、都市部の交通渋滞が悪化する可能性もあります。配送と環境への負担を軽減し、円滑な物流を確保するためには宅配便などの荷物は、1 回で受け取ることが大切です。



### 再配達削減のためにできること

再配達を削減するために私たちができる具体的な取り組みをご紹介します。

#### ●宅配ボックスの活用

自宅や集合住宅に宅配ボックスを設置することで、不在時でも荷物を受け取ることができます。

#### ●置き配の推進

指定した場所に荷物を置いてもらう「置き配」を利用することで、対面での受け取りが不要となり、不在時でも荷物を受け取ることができます。

#### ●受け取りスポットの利用

コンビニエンスストアや駅の宅配ロッカーなど、受け取りスポットを活用することで、自分の都合の良い時間に荷物を受け取ることができます。

#### ●時間帯指定の活用

配送状況がわかる通知アプリ等を活用し、配達希望時間を予め指定することで、受取人が在宅している時間帯に配達がされ、不在による再配達を減らすことができます。

再配達を減らすには、自身のライフスタイルに合った受け取り方を選ぶことが大切です。私たち一人一人が意識をもって取り組み、再配達を削減したいですね。



出典：国土交通省『物流：宅配便の再配達削減に向けて』